STEP 5 国語辞典でしりとり

①文字の数を決めて、しりとりをします。ひらがなでもかたかなでもOKとします。小さい「ゃ」「ゅ」「ょ」「っ」や伸ばす音「ー」も一文字と数えてください。

しりとり➡り□➡□□□➡□□□□➡□□□➡□□

②当てはまることばを国語辞典で探します。
③最初のことばに戻るようにすると、ぐんと難しくなって楽しめます。

しりとり➡り□➡□□□➡□□□□➡□□□➡□□
➡しりとり

【ふることばの一例】しりとり→りす→すいか→かがり→りンご→すしりとり

辞書は、引けば引くほど楽しくなります。お子さまが辞書引きに親しめるよう、一緒に取り組んでみてください。辞書引きを楽しくする活動については、『チャレンジ辞書引き道場　はじめての辞書引きワーク』(ベネッセコーポレーション)でたくさん紹介していますので、是非ご覧ください。

STEP 6 「なぞなぞあそび」で「国語辞典」に導入

①おうちの方が「なぞなぞ」を出します。
②なぞなぞの答え(答えだと思うことば)を、子どもに引かせましょう。
③難しいときはヒントとして辞典の説明を読みましょう。

なぞなぞ❶

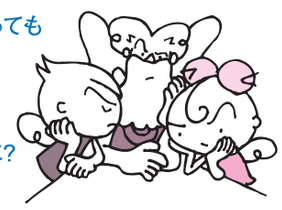
【問題】
あれ　だめえ
これ　だめえ
それ　だめえ
めえめえ　いってる
わたしは　だれ?

【ヒント】
灰色がかった白色の毛を持つ動物。
昔から人に飼われ、毛は織物に、肉は食用にされる。綿羊。

【答え】ひつじ

なぞなぞ❷

【問題】
なにを　いっても
「ほっとけ」
という
きが　あるよ
これ　なあに?



【ヒント】
小麦粉に卵・砂糖・牛乳などを混ぜ、平たく焼いた食べ物。
バターやシロップなどをつけて食べる。

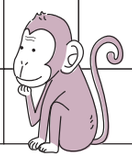
【答え】ホットケーキ

STEP 7 生きものの名前を辞書で調べよう

①子どもにとって身近な生きものを「あ・か・さ・た・な…」の順で引いていきます。
②まずは「5分間でどこまで引けるか」を課題として与えます。
③どこまで引けても、ほめてあげましょう。
④5分間で引けたことば以外の、残ったことばを最後までじっくり引きましょう。

ヨーイ、スタート!
5分間でどこまで引けるかな?

わ	ラ	や	ま	ハ	な	た	さ	か	あ
に	ッ	ぎ	ぐ	ム	ま	ぬ	る	え	り
	コ		ろ	ス	ず	き		る	
				タ					
				ー					



STEP 8 国語辞典でクッキング

①子どもにとって、とても身近な「食べ物(料理)」の名前を引かせます。
②子どもが持っているその食べ物や料理についての知識と、辞書に書いてあることが同じか、違うかを考えさせます。知っていたこと以外の新しい発見をし、とても驚くことが多いのです。どんな発見があったか、声に出して言うようにします。
③下記「ハンバーグ」の次は、「ラーメン」「カレーライス」など、子どもにとって身近なメニューや、「今朝食べたもの」といった具合に、進めていきます。
④さらに、おうちの中の身近なことばも「机」「冷蔵庫」「台所」…と引いていきます。「台所=お金のやりくりをするところ」などの意味もあり、驚くことでしょう!!

例「ハンバーグ」を引いてみよう!

子どもにとって「ハンバーグ」とは、「茶色くてまるい」「おいしい!」「大好き!」といったところでしょうか。辞書を見ながら材料や作り方について、子どもと話をしてみましょう。